



# 令和5年度から 新たに実施する 横浜市職員採用試験について

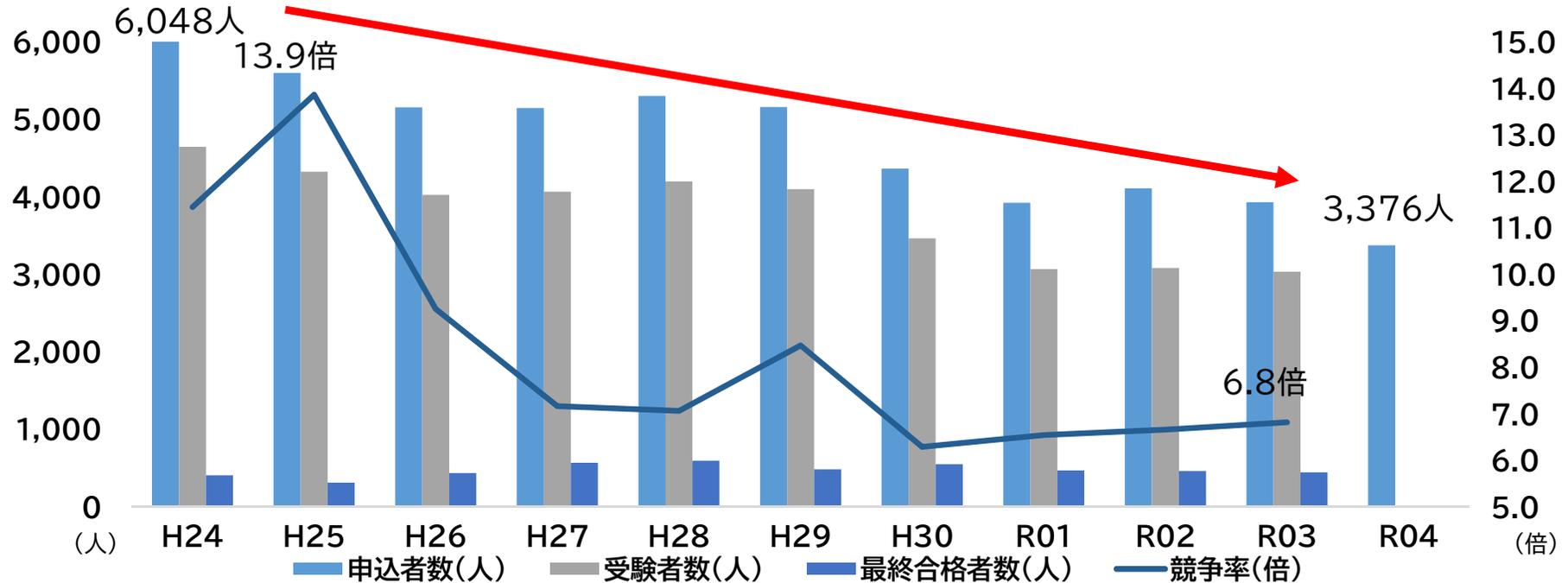
～民間企業への就職・転職希望者も受験  
しやすい2つの試験を実施します！～

2022年11月25日  
市長定例記者会見  
説明資料

# 採用試験の現状・課題

- ◆ 申込者数、倍率ともに低下傾向
- ◆ 複雑な行政課題に対応する、多様な考えや経験を持つ人材の必要性

【採用試験の実施状況】



※平成24年度～令和4年度 事務職採用試験の実施状況(大卒程度、高卒程度、社会人採用試験の合計値)

# 新たな採用試験の実施

- ▶ 既存の採用試験(6月・9月)に加え、  
4月に【特別実施枠】での新たな試験を創設
- ▶ 民間企業への就職・転職活動者にとって、  
広くなじみがある【適性検査(SPI)】を導入

# 新たに実施する2つの採用試験

## 大学卒程度採用試験 特別実施枠【SPI型】

### 目的

主に若手転職者～新卒学生で、課題に果敢にチャレンジできる人材を確保

## 社会人採用試験 特別実施枠【SPI型】

### 目的

流動性の高い転職市場にいる、経験豊富な人材を確保

## 2つの採用試験の特徴

- 第一次試験は適性検査(SPI3)のみ
- 適性検査は全国どこからでも受検可
- 民間企業の採用スケジュールに対応

(第一次試験は4月) ※6月(大学卒程度)、9月(社会人)の試験に追加して実施



これまで横浜市への就職を  
考えていなかった方も受験可能に

## ■ その他(既存の採用試験の見直し)

大学卒程度採用試験(第一次試験:6月)の  
技術系職種について  
教養試験を廃止し、**専門試験のみ**で実施

※試験区分:全7区分  
(土木・建築・機械・電気・農業・造園・環境)

 試験対策のハードルを軽減

# 【参考】令和5年度 大学卒程度、社会人採用試験の予定(事務職、技術職)

## 【事務職】

	対象年齢	第一次試験時期	試験科目
<b>NEW</b> 大学卒程度採用試験【SPI特別枠】	22～30歳	4月	適性検査(SPI3)
<b>NEW</b> 社会人採用【SPI特別枠】	31～40歳	4月	適性検査(SPI3)
大学卒程度採用試験	22～30歳	6月	教養試験
社会人採用試験	31～59歳	9月	教養試験

## 【技術職】

	対象年齢	第一次試験時期	教養試験
大学卒程度等採用試験 【技術先行実施枠】※土木、建築、機械、電気のみ	22～30歳	4月	なし(専門のみ)
大学卒程度等採用試験	22～30歳	6月	<b>変更</b> あり→ <b>なし(専門のみ)</b>
社会人採用 ※農業除く	31～59歳	9月	なし(専門のみ)

\* 試験実施については全て現時点での予定であり、今後実施手法、時期等が変更となる可能性があります。

\* 令和5年度における横浜市実施の他試験との併願は原則不可となります。

「明日をひらく都市」横浜を実現するために  
「市民目線」、「スピード感」の視点を持ち、  
一丸となって取り組んでくださる皆さまの挑戦を  
お待ちしております。